

アジア神学セミナー

「アジア神学」序説

徐正敏 教授

アジアに対する理解(アジア論)

アジアの現実に対する
ネガティブの問題点

帝国主義被害の痕跡

民主主義の歴史が短い。

極端的資本主義、富の偏重現状、

拝金主義の蔓延

民衆教育の不足



朴槿恵前大統領



安倍首相



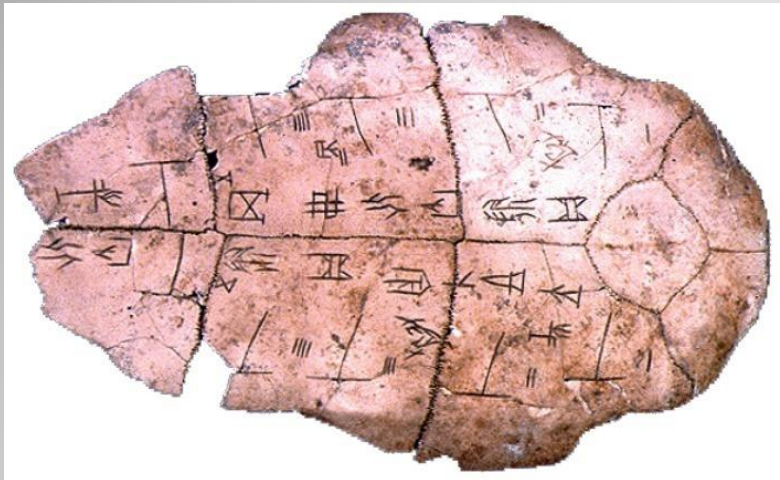
インドにおいて奴隷的扱いを受ける人々



ソウルの貧民街と高層ビル

アジアのポジティブな未来の 可能性の要素

古い歴史、文化的伝統
深い精神価値観
地域文化の多様性
人的、物的資源の豊か
ポジティブな思考方式



黄河文明 甲骨文字



インダス文明 モヘンジョダロの印象



老子



瞑想



四君子

中心的東アジアにおける アジア・アイデンティティの 薄弱背景

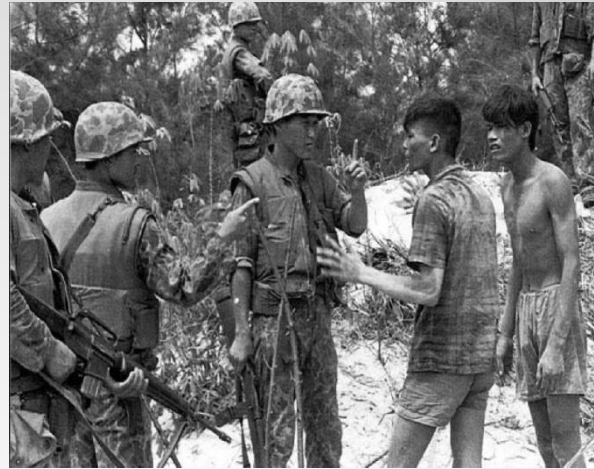
日本- 「脱亜入欧」

韓国- 「アジア帝国主義による植民地経験」
「ベトナム戦争」

中国- 「世界中心認識」



韓国戦争



ベトナム戦争に参戦した韓国軍



「脱亜入欧」主唱者
福沢諭吉



日本の赤軍



中国 天安門事件

「アジア神学」の中心内容

多宗教、多文化歴史社会の理解

現実的な課題に対する神学的応答

「キリスト教主義」の展開理論の具現

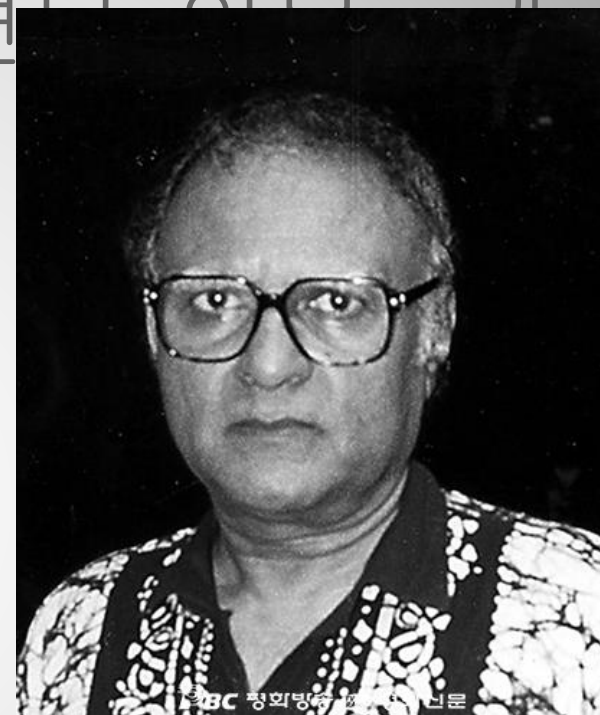
과 관련된 인물



C. S. ソン



柳東植



アロイシウス・ピエリス

「キリスト教主義」の理解

同心円的な構造

核心円：キリスト教信仰-教会

第2円：キリスト教の固有の価値領域、キリスト教時別倫理：隣人を愛し、敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る。(マタイによる福音書5：43-44参考)-教育現場

「キリスト教主義」の理解

同心円的な構造

第3円：キリスト教の一般の価値領域、キリスト教普遍倫理：平和、生命、人権、共生など。別の宗教、イデオロギーと共通する。-多宗教、多文化社会



キリスト教信仰-教会

キリスト教の固有の価値領域、
キリスト教時別倫理

キリスト教の一般の価値領域、
キリスト教普遍倫理